


昭 19							年 月 日	才一挺進飛行団司令部 略歴
20								
10	8	5	3	12	11	11		
3	15	5	7	30	21		略 歴	
<p>釜山出發同日博多に上陸復員</p> <p>停戦後義州を経て大邱に移動</p> <p>連浦に於て停戦</p> <p>朝鮮 鏡南道連浦に移駐</p> <p>新田原に移駐</p> <p>全員戦死す</p> <p>司令部の一部比島転進途中東支那海に於て敵の攻撃を受け輸送船沈没し</p> <p>宮崎県唐津原に於て編成完結</p> <p>軍令陸甲オ一五八号により臨時編成下令</p>								
							摘	要

昭										年 月 日	第一挺進団司令部 (帥第九四四部隊)	略 略 歴	略 歴	摘要	
18	18	18	18	18	17	17	17	17	16						
8	7	7	7	6	7	6	5	4	12						
13	17	15	10	24	6				30						
<p>「ニューギニヤ」島「ウエワク」着警備に従事。</p> <p>「ペリリユー」島上陸。</p> <p>「パラオ」着。</p> <p>宇品港出發。</p> <p>動員下令。</p> <p>高鍋において挺進訓練に従事</p> <p>宮崎県高鍋に移駐。</p> <p>「スングイバタニ」飛行場出發。</p> <p>マライ「スングイバタニ」飛行場に展開し「バレンバン」進攻作戦に参加。</p> <p>宇品港出發。</p> <p>宮崎県高鍋において編成完結。</p>										略	歴				

1283

		至			自		昭
		19	19	19	19	19	19
		11	6	6	5	2	1
		21				29	25
		<p>昭南港入港。</p> <p>「スマトラ」島「ベラ」湾入港同日基地「ビン・チェー」着。</p> <p>印緬作戦参加。</p> <p>「スマトラ」島「ビンチェー」出発</p> <p>内地帰還（宮崎県唐瀬原）</p> <p>軍令陸甲第一五八号により編成改正</p> <p>部隊所属の人員資材の全部を第一挺進飛行団司令部に転属せしめ復帰。</p>					

六

昭 19	19	19	19	19	19	19	昭 19	年 月 日	 第二挺進団司令部 (威第一九〇四〇部隊)
12	12	11	11	11	11	11	11	略	
6	2	30	15	12	11	8	5	略	
昭和一九、二一、二、軍令陸甲第一四六号に依り宮崎挺進練習部に於て編成完結 団長及び指揮機関「マニラ」に向い前進 団長「マニラ」到着南方方面軍司令官の指揮下同日第四航空軍司令官の指揮下に入る 挺進第三連隊を掌握 南「サンフェルナンド」に転進集結 挺進第四連隊北「サンフェルナンド」到着直ちに掌握 挺進飛行第一戦隊「アンフェレス」到着指揮下に入る 挺進第三連隊主力、挺進第四連隊約一ヶ中隊「レイテ」島「ブラウエン」 「サ ンパプロ」「ドラッグ」「タクロバン」敵各飛行場に挺進								略	略
								摘要	

20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19	19
3	3	3	3	3	2	1	1	1	1	12	12
29	20	16	14	10	6	11	9	5	5	25	8
<p>挺進第四連隊主力カレクニ島（オルモック）挺進開始、悪天候を冒し敵前跳下、 一二月十三日中止、引続き挺進第三連隊の一部「ネグロス」島飛行場に跳下、 司令部及び挺進第三第四連隊「マニラ」集結 「マニラ」死守を命ぜられ第四航空軍司令部に集結、「マニラ」中地区隊とな る。 北部呂宋「エチャゲ」に転進開始 司令部主力「エチャゲ」到着 司令部及び挺進第三第四連隊集結完了遊撃隊司令部及び遊撃八ヶ中隊の編成着 手を命ぜらる。（三月二〇日完了） 第一四方面軍司令官の直轄となり「ドバックス」に向い出発 第一〇師団長の指揮下に入り独立歩兵第一一連隊を指揮下に入らしめらる。 鈴鹿峠独立歩兵第一一連隊本部に到着鈴鹿谷に位置す。 臨時歩兵松野大隊到着指揮下に入る 牛山敵前進陣地攻撃</p>											

20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
6	6	6	6	5	5	4	4	4	4	4
16	13	11	10	22	9	25	14	11	6	6
<p> 右地区隊及び久富部隊を誠心山北側に集結、津田部隊をして鈴鹿峠附近守備せしむ。 司令部誠心山西側各地移動 右地区隊及び久富部隊を誠心山北側に集結、津田部隊をして鈴鹿峠附近守備せしむ。 独立歩兵第一〇連隊主力復帰、田村遊撃隊及び佐藤中尉、郷主計中尉の指揮する輸送班「ビルーク」「カガヤン」河合に糧秣収集輸送の爲め出発 田村遊撃隊復帰 隊編成 二地区とす、田辺遊撃隊（旧平林部隊）宝満山転進、松野少佐の指揮する遊撃隊編成 独立歩兵第一一連隊主力滝山に転進、師団長の直轄となり支隊戦闘地区を左右二地区とす、田辺遊撃隊（旧平林部隊）宝満山転進、松野少佐の指揮する遊撃隊編成 平林少佐の指揮する斬込隊（四〇組）「パレテ」地区戦闘に協力 妙高、金剛山の敵背後より五ヶ中隊を以てする攻撃準備を命ず 増田、田、野口、朝川、伊藤の五ヶ中隊及び三〇組を以てする、敵主力砲兵攻撃の爲め禿山陣地より敵軍背後より進入攻撃を命ず 禿山敵陣地攻撃 挺進決死斬込隊一七組として敵砲兵陣地攻撃 妙高、金剛山の敵背後より五ヶ中隊を以てする攻撃準備を命ず </p>										

	20	20	20	20
	9	8	7	7
	2	22	10	4
	<p>司令部「ビルーク」転進、久富部隊、松野部隊を「ピナバガン」地区に転進、津田郡隊「カロバル」山東占領主力は「ズガタ」週辺に集結を命ず</p> <p>司令部「トオン」到着</p> <p>司令部「ピナバガン」到着久島部隊、田村部隊を掌握</p> <p>停戦に伴い戦闘行動停止爾後生存者は所在の地点に於て武装解除された後米軍収容所に入る</p>			

至自												昭					
18 18 18												17 16					
4 1 1		12	12	12	12			12	12	12	3	年					
		10	20	17-25	8	6	4~5		3~4	1	1	月					
												日					
ゲ号作戦参加		「ニューブリテン」島「ココボ」集結		横須賀出發		各務原着		空 中 移 動		鮮満国境安東通過		南方転進のため白城子出發		動員下令		満州白城子において編成完結	
		「ニューブリテン」島「ラバワル」		釜山出發				地 上 移 動				略		歴		略	
												摘	歴				
												費					

白城子陸軍飛行学校教導飛行団司令部
 (洋才八三七五部隊)
 略 歴

昭	自	至
18	19	19
5	3	3
	5	31
	25	
		昭二二、二、二二軍令陸中才二四号により部隊復帰
		「ニューギニア」島「フーツ」に転進
		才二次「ニューギニア」戦に参加
		「ホーランドヤ」に転進

昭	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	年
月	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	月
日	1	15	18	23	27	30	9	24	20	25	日
	第一航空地区司令部編成完結	渡満の ^{ため} 赴屯営(八日市)出發	大阪港出發	大連港上陸	滿州國牡丹江省温春到着	温春出發	大連港出發	佛印西貢港上陸	西貢出發	「シヤム」國「ドムアン」飛行場に到着。爾後同地に在りて任務遂行中終戦に	略
											歴
											略
											歴
											摘要

第一航空地区司令部
(高第九九〇三部隊)

				21	20	20	19
				7	6	10	8
				3	28	20	25
				<p>内地復員</p> <p>第三航空軍通信調査班二一名転入す</p> <p>南方航空路部昭南航空路管区第七保安中隊、中隊長以下六七名転入す</p> <p>昭和二九、二〇、二二軍令陸甲第二四号に依り編制改正</p> <p>いたる。</p>			
			歴代部隊長				
			初代 大佐 川本喜彦				
			二代 中佐 岡本熊吉				
			三代 大佐 塚本初雄				

										昭	年 月 日	第二航空地区司令部 (羽第九一〇五部隊) 略 歴																																															
19					18					17					16					14																																							
3			9			9			10				2			7			7			7			7			7																															
25			4			2			13			5			30			25			6			6			6			30			略 歴	摘要																									
昭19年軍令陸甲第二四号により編成改正下令										海浪着					移駐のため佳木斯出發					部隊移駐のため海浪出發。同日牡丹江着					部隊移駐のため牡丹江出發同日三江省佳木斯着					臨時編成完結					臨時編成下令					牡丹江省海浪着					鮮満国境個們通過					滿州移駐のため会寧出發					会寧において編成				

					至 自	至 自	至 自	昭	年 月 日	略 歴	略 歴	摘 要				
20	20	20	20	秘	19 19	18 18	17 17	17								
11	11	10	4	8	7 4	10 7	12 9	4								
									8							
<p>北京南苑飛行場に於て編成完結黄河以北地区の作戦を担当す</p> <p>航空進攻作戦に参加、主力太原、运城飛行場に前進</p> <p>航空進攻作戦参加、南京大校飛行場に戦斗司令所開設北支及び中支三角地域の作戦を担当す</p> <p>河南作戦に参加、新郷鄭州飛行場に戦斗司令所開設北支及び河南地区の作戦を担当す</p> <p>第四八地区司令部の編成を担当し山西省並びに蒙疆地区を之に移譲す</p> <p>第五五地区司令部の編成を担当し山東省地区を之に移譲す</p> <p>終戦に伴ひ南苑飛行場を撤し軍糧城に集結</p> <p>掃選準備の為天津貨物廠に移動</p> <p>復員の為塘沽に於て米船 LST に乗船</p>																

20

11

佐世保港上陸復員

歴代部隊長

初代 大佐 難波了三

二代 中佐 高崎栄作

三代 大佐 北村九郎

1295

年	月	日	略	歴	摘要
昭	16	10	20		
16	12	8			
17	2	6			
17	3	1			
18	6	1			
19	3				
19	6	中旬			
19	12	9			
			昭和一九、二、二二軍令陸甲第二四号に依り編制改正。		
			小「スندا」列島「フロレス」島「マルメラ」に転進。		
			地区司令官城後大佐は在「チモール」島指揮下部隊の作戦指導の為司令部輸送機九九双軽にて「マルメラ」出発途中「オンバイ」海峡附近に於て敵機と交戦		
			「ボヂヤネガラ」(部員齋藤少佐の指揮する一部)に夫々敵前上陸。		
			小「スندا」列島「チメル」島「ラウテン」に上陸。		
			「ジャワ」島攻略作戦の為、臺灣高雄港出発。		
			臺灣に於て比島攻略作戦に参加。		
			き臺灣屏東市に於て編成完結。		
			昭和一九、一〇、一六軍令陸甲第六八号により留守第四飛行団司令部改変に基		

第四航空地区司令部

(司第九九〇五部隊)

略歴

				21	20	20	19
				6	9	1	12
				27	2	27	23
				鹿兒島上陸復員	終戦。	泰国「ウボン」に展開。	泰地区に転進を命ぜられ「フロレス」島出發
			歴代部隊長				
			初代	中佐	梶村隆良		
			二代	大佐	城後熊吉		
			三代	少佐	石川正市		
			四代	中佐	穂積松年		

									昭	年 月 日	第五航空地区司令部 (隼魁第九八六四部隊) 略 歴
17	17	17	17	17	17	17	17	17	17		
9	8	8	6	6	6	6	6	4	3		
3	30	23	29	22	6	4	1	8	31	略	
佛印「サンヂャック」着									軍令陸甲第二〇号に依り泰国「ランバン」第十八航空地区司令部に於て編成着手。		歴
「シンガポール」着			中国転進の為「ラングーン」港出帆		「ラングーン」上陸		「シンガポール」港出帆		泰「マレー」国境通過		
							泰国「ランバン」出発		編成完結(泰国「ランバン」)。		

21	21	21	21	21	21	20	20	20	20	19	19	17	17
5	5	5	5	4	4	12	11	9	6	3	3	9	9
25	20	3	1	28	26	1	25	10	26	31	24	8	8
博多港上陸復員	上海出發	上海到着	南京出發	南京上陸	帰還の為鄂城出帆発	鄂城到着	華北湖北省鄂城縣鄂城に移駐の為漢口出發	華中漢口到着	華北に転進の為廣東出發	編成完結(廣東)	昭二九年軍鄂甲第二四号に依り編成改正着手	廣東省廣東到着	中国廣東省黃浦上陸

			歴代部隊長
三代	二代	初代	
中佐	中佐	少佐	
巨勢寛弼	山田與吉	藤岡文雄	

											昭	年	月	日	略	歴	摘	要																																																																																																																	
											17								16																																																																																																																
8	7	7	6	6	3	3	6	6	2	2	7																																																																																																																								
2	15	2	18	14	31	25	10	9	5	4	30																																																																																																																								
「ネグロス島バコロド」に移駐											「マニラ」港上陸											釜山発											鮮満国境通過											南方転進のため杏樹出発											編成完結											軍令才三四号により編成改正着手											杏樹着											移駐のためハルビン出発											ハルビン着											移駐のため佳木斯出発											満州三江省佳木斯において編成完結										

才六航空地区司令部略歴
 (翼才九一九〇部隊)

	至自	至自	至自	至自
	20	20	20	20 19
	9	8	4	3 10
	2	31	1	31 15
<p>「レイテ」航空作戦参加 敵上陸後河野兵団の指揮下に入り地上戦参加 終戦に伴い戦行動停止、爾後生存者（部隊）は所在地で武装解除 を受け、米軍収容所に入る</p>				

至自		至自		至自		至自		至自		昭	年 月 日	第七航空地区司令部 (高第九一二六部隊)	略 歴	略 歴	摘 要						
11	118	87	8	7	75	54	43	33	2	1											
15	1426	259			823	225	417	165		9											
第二飛行集団長の隷下を脱し、第三飛行集団長の隷下に入らしめらる。		対第三国作戦準備		南部佛印進駐作戦に参加		西貢に前進		佛印進駐作戦のため広東出發同月佛領印度支那東京州加林飛行場着		南支方面地上兵団肅正協力作戦に参加		福州作戦及び甲子附近遮断作戦に参加		汕尾附近遮断作戦に参加		雷州方面遮断作戦に参加		南支転進のため公主嶺出發。広東着		満州公主嶺において編成	

	20			19	
	8	8	10	6	3
	20	15	6	7	31
	奉天において武装解除	奉天において停戦	牡丹江出發同日奉天着	海浪出發同日牡丹江着	編成改正完結

昭											年 月 日	略 略 略 略
18	18	18	18	18	18	18	17	17	16	16		
3	3	3	2	2	2	2	10	10	7	7		
6	2	1	23	21	21	19	17	16	30	28		第八航空地区司令部 (翔第四九一四六部隊)
門司港出發	門司入港	釜山港出發	釜山着	六八三作命甲第六号により第三航空軍司令官の隷下に入る	鮮満口境安東通過	南方転進のため綏化出發	北安省綏化着	佳木斯出發	佳木斯において編成完結	佳木斯において臨時編成下令		
											摘要	

		至自		自至		自至		自至		自至		自至		自至													
21	21	19	20	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18												
3	6	3	8	10	9	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3												
30			14	1	30	15	27	26	25	23	20	17	12	11													
「スマトラ」島「ベラワン」出発		○一部		主力名古屋上陸復員		昭和一九、二、二二軍令陸甲第二四号に依り編制改正		反攻撃々碎作戦参加		周辺地区撃滅戦参加		「メタン」に転進		「ベラワン」上陸		「スマトラ」「ベラワン」入港		昭南港出発		昭南入港		佛印「サンヂヤク」入港同日出発		馬公港出発		馬公入港	

22	22	21	21	21	22	22	21	21	21	
9	9	3	2	2	5	5	8	7	4	
18	5	4	28	3	18		30	6	2	
佐世保上陸復員	「シンガポール」港出發	「シンガポール」作業隊に編入	「バトハハ」上陸	「ペラワン」港出發	○一部	宇品上陸復員	「シンガポール」港出發	「エンダウ」作業隊に編入	「ジョーホール」作業隊に編入	「マライ」「バトハハ」上陸

昭											年 月 日	第九航空地区司令部 (鯉第九六〇五部隊)	略 歴	略 歴	摘 要									
18	18	17	17	17	17	17	16	16	16	16														
4	3	9	9	9	9	9	12	8	8	7														
9	21	29	27	21	11	7		11	8	27														
「アンボン」島「ラバ」上陸																								
「パレンバン」出発																								
「スマトラ」島「パレンバン」上陸																								
昭南出発																								
昭南上陸																								
大連出発																								
南方々面転進のため「チチハル」出発																								
原駐地帰還のため東京城出発「チチハル」着																								
東京城着																								
「チチハル」出発																								
編成完結(チチハル)																								

	21	21	20	20
	6	6	12	10
	19	4	22	16
	田邊港上陸復員	「セラム」島「アサウデ」出発	「セラム」島「マシカ」移駐	「セラム」島「カマル」移駐

昭	16																						航空地区司令部	(翼才一一六二〇部隊)	略歴	
17	12	5	9	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6					
18																										
19																										
昭和	20	20	20	20	20	19	18	18	18	17	16															
	年	月	日	略歴																						
東京城において編成完結 移駐のため東京城出發、同日敦化着 移駐のため敦化出發、同日間島着 嫩江着 比島転進のため嫩江出發 鮮満国境安東通過 釜山着 釜山出發同日門可上陸 門可港出發 「マニラ」上陸同日「クラークフィールド」着 北及比島作戰参加 「クラーク」附近防禦作戦参加 「クラーク」附近遊逸作戦																										
摘要																										

1310

	昭
	20
	9
	五ノ谷収容所において武装解除

1311

		昭									年 月 日	第一航空地区司令部 (威第一〇六五三部隊) 略 略 歴	
		16	16	16	16	16	16	16	16	16			略
11	同	11	11	10	8	8	8	8	8	8			
20	日	18	15	28	27	24	22	17	15	1	静岡県浜松において編成完結。	略	
											大連港出帆。		略
											大阪港出帆。	略	
											大連港上陸。		略
											関東州界日満国境通過。	略	
											牡丹江省蘭崗着。		略
											北安省嫩江着。	略	
											嫩江出発。		略
											関東州界日満国境通過。	略	
											大連着。		略
											大連港出帆。	摘要	

		自											
		20	20	20	20	20	19	19	17	16	16	16	16
		4	3	3	2	1	3	2	2	12	12	11	11
		25	17	17	18	20	1	22	28	31	10	30	26
		敵主力の攻撃をうけ敢闘			第四飛行師団長の指揮を離れ振武集団（第四十一軍）長の指揮下に入る。			ならびに「マニラ」飛行場の設定作業担任。			第四飛行師団長の指揮下に入り主として「マニラ」周辺飛行場の地上勤務統轄		
		集團命令により陣地を撤退し悠久山下に集結。			主力は八州山南麓五〇一高地に陣地占領し、一部を以て「マリキナ」川右岸に			前進陣地を占領し又健兵の大部を以て兵団の弾薬食糧輸送に従事。			釜山港寄港。		
											台湾高雄港寄港。		
											澎湖島馬公港外碇泊。		
											比島「ルソン」島「カガヤン」州「アパリ」付近に敵前上陸。		
											「ルソン」島「カガヤン」州「アパリ」出発。		
											「マニラ」上陸同地付近に展開。		
											軍令陸甲第二四号に依り編成改正。		

		20	20	20	20
		9	8	6	5
		5	15	1	20
部隊長 初代 大佐 湯浅 一郎 二代 大佐 伏見 鎮	再び敵の攻撃をうけ六月五日逐次後方陣地に移動し不動山付近に最後の陣地占領 糧食殆んどつき兵力著しく消耗す。 集団命令により反転前進して「モンタルパン」北方地区に向い糧食を収集して戦力恢復に努む。 停戦。 振武集団命令に依り米軍に収容せらる。				

											昭	
											16	
											年	
											月	
											日	
												7
11	11	11	11	10	10	9	9	8	8	7	7	7
12	10	10	9	27	26	14	13	10	10	20	16	16
大連港出発	大連着	関東州界通過	あ号作戦のため哈爾濱出発	浜江省哈爾濱着	原驻地帰還の為東安出発	東安着	東安省移駐の為勃利出発	勃利着	東安省勃利移駐のため杏樹出発	滿州三江省杏樹において編成完結	臨時編成(甲)下令	
											略	
											歴	
											摘要	

才一二航空地区司令部 略歴

(料才八三四〇部隊)

昭														
17														
4	4	3	3	12	12	11	11	11	11	11	11	11	11	11
26	23	2	2	8	3	28	27	22	21	19	16	15	13	13
昭南着	移駐のため「スングエイバタニ」出発	泰英領馬來国境通過	移駐のため「シンゴラ」出発	泰玉「シンゴラ」上陸	同地出発	海南島三亜着	同地出発	海南島海口着	同地出発	広東虎門砲台着	同地出発	上海呉淞着	同地出発	錦州壺盧島着

10	10	10	10	9	8	8	8	8	8	8	5	5	5	4
20	16	9	3	30	26	24	12	9	4	4	4	4	4	30
「蘭貢」出発	緬甸「蘭貢」上陸	昭南港出発	馬來昭南着	「パレンバン」出発	「パレンバン」上陸	昭南出発	昭南上陸	ベラワン「出発	ベラワン「着	移駐のため「メダン」出発	「メダン」着	「ベラワン」出発	スマトラ島「ベラワン」着	昭南港出発

	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自
	12	1110	97	73	33	32	212	12	12	11	11	11	11	10
	1	301	3024	2318	179	816	158	25	3	30	24	17	17	28
参加	同日より馬來及太平洋「ニューブリテン」島に在りて西南太平洋作戦に	緬甸及馬來に在りて周辺地区撃滅戦に参加	「スマトラ」に在りて第一次防衛作戦に参加	馬來及「スマトラ」に在りて占領地の戡定作戦竝に警備に従事	馬來に在りて北部「スマトラ」作戦に参加	馬來に在りて占領地戡定作戦に参加竝に警備に従事	泰國及馬來に在りて馬來作戦に参加	「ビスマルク」群島「ニューブリテン」島「ラバウル」上陸	昭南港出發	昭南上陸	蘭貢港出發	蘭貢着	沖方面転進のため「メーカーテイラ」出發	緬甸「マグウエ」着

	21	21	18
	1	1	8
	17	9	
	大竹上陸 復員	「ウエワク」 出發	「ウエワク」 着
			転進のため「ラバウル」 出發

至自										昭		年 月 日	略 略 略	第一三航空地区司令部 (翼第九一一三部隊)							
19	19	19	19	19	19	19	18	16													
11	9	6	6	5	5	5	3	8	12												
10	10	20	20	13	19	9	2	1	14			略	略	略							
「ラサン」西南赤峰高地に移動す		「ダバオ」市に於て業務実施		沈せらる		「ダバオ」港入口(北緯五度三六分東経一二、五度十七分に於て敵潜水艦に撃		「ミンダナオ」島「ダバオ」に向い「マニラ」出發		「マニラ」上陸		釜山港出發		東安出發		昭和一九、二、二三軍令陸甲第二四号に依り編制改正		東安に移駐		滿洲国牡丹江省海浪に於て編成を完結	
												摘要									

	20	20
	9	2
	2	1
<p>「ラサン」飛行場西南高地に移動終戦に至る。</p> <p>停戦に伴い戦行動停止爾後生存者は所在の地点に於て武装解除された後米軍収容所に入る</p> <p>指揮部隊</p> <p>第八、第二六飛行場大隊「ラサン」</p> <p>第一二、飛行場大隊「リピー」</p> <p>第一四、飛行場大隊「ダリヤオン」</p> <p>第一、一五特設野戦飛行場設定隊</p> <p>第二六、一二七野戦飛行場設定隊</p>		

昭 18										年 月 日	才一四航空地区司令部 略歴
20											
8	3	3	8	8	8	2	1	28	1		
		20	12	11	31	31	30	25	28		略 歴
軍令陸甲第七号に依り編成下令 ハルビンに於て武装解除 東満総省寧安県海林着 佳木斯出発 同日より同地に在りて外国鎮成 三江省佳木斯着 部隊移駐のためハル濱出発 ハル濱において編成完結											
摘要											

										昭
										15
										16
										17
年	月	日								
		2	9	10	10	11	1	1	3	
		30	7	15	17	27	13	14	17	1
第一五航空地区司令部 (司第九八六一部隊)										
略 歴										
略 歴										
摘要										
<p>北支南苑に於て編成 仏印進駐のため南苑出發 青島出發 仏印「サイゴン」着 仏印「コンボンクラーナ」着 「ブノンベン」に移駐 昭南移駐のため「ブノンベン」出發 泰佛国境通過 泰馬來国境通過 昭南着 爾後昭南にあつて馬來各飛行場の整備、整備、補給業務を指導</p>										

			21	20
			5	9
			13	2
		昭南に於て終戦 内地帰還のため「レンバン」島出發		
		名古屋上陸		
		復員		
	歴代部隊長			
	初代 大佐 能見 義亮			
	二代 大佐 溝口 護命			
	三代 大佐 松崎今朝松			
	四代 大佐 真館 武明			
	五代 大佐 池松蔵太郎			

昭	至自	至自	至自	至自	至自	至自	至自	昭	年 月 日	才一六航空地区司令部 略歴 (隼魁才九八六一部隊)
12		16						8		
5	2828	429	3128	281	51	43	54	2026		
安慶において編成完結	第一一軍地上協力作戦及び昭和十四年度冬期作戦並びに航空撃滅戦及び必要地攻撃参加	第一一軍及び第一三軍作戦地上直接協力作戦参加	第一一軍の実施せる漢水作戦並びに航空撃滅作戦地上直接協力作戦に参加	加	第一一軍の実施せる豫南作戦地上直接協力作戦参加	第一一軍の実施せる宜昌西方地区討伐作戦並びに錦江作戦地上直接協力作戦に参加	第一三軍の実施せる浙東上陸作戦及び浙東作戦地上直接協力作戦に参加	敵の背後連絡線及び戦路上の要地に対する攻撃並びに航空撃滅戦地上直接協力作戦に参加	略	歴
									摘	要

						至自	至自	至自	至自	至自				
20					19	18 18	17 17		17 16					
5	9	9	9	5	2	2 1	12 8	8 4	3 11	10 8				
1	21	16	11	21	22	28 1	31 10	9 1	31 1	31 21				
部隊移駐のため衡陽出發	衡陽着	湘潭出發	湘潭着	「ト」号作戦参加のため漢口出發	軍令陸甲第二四号により編成改正	地上直接協力作戦に参加	第一一軍の「一」号作戦並びに江連遮断作戦及び蘇皖軍事施設破摧作戦	協力作戦参加	昭一七年後期航空作戦及び第一一軍、第一三軍の「き」号作戦地上直接	協力作戦参加	第一一軍及び第一三軍の実施せる浙赣作戦並びに航空進攻作戦地上直接	戦参加	第一一軍の実施せる第三次長沙作戦並びに航空進攻作戦地上直接協力作	第一一軍の実施せる長沙作戦地上直接協力作戦参加

63~2

			11	6
			6	6
			9	20
			19	17
		内地復員	朝鮮全羅南道錦城面着	安東通過
				山海関通過

1327

昭							年 月 日	第一八航空地区司令部 (洋第一一六一三部隊)	略 歴	略 歴	摘要
17	17	16	16	16	16						
4	3	12	12	11	9						
8		19	8	25	25						
<p>第一次</p> <p>南京において編成完結。</p> <p>第三飛行集団に属し南方派遣のため南京出発。</p> <p>泰国「ナコン」泊地上陸</p> <p>泰馬国境通過「スングイパタニ」着「シンガポール」攻略戦参加。</p> <p>「スングイパタニ」出発馬來泰國境通過同日「ドムアン」着「ビルマ」作戦参加。</p> <p>「ランパン」において第五航空地区司令部と改称</p> <p>爾後の行動は第五航空地区司令部略歴参照。</p> <p>部隊長 大佐 藤岡文雄</p>											

		昭										
		19	19	19	19	19	19	19	18	18	18	18
		8	8	7	4	3	3	2	9	9	2	1
		19	不明	5	不明	不明	不明	不明	15	14	11	28
部隊長	大佐 齊藤武夫	濠北「サンフェルナンド」北西七四湮海上において「玉津丸」海没し部隊玉砕す。	不明「サルミ」出発。	「サルミ」において部隊長齊藤大佐戦死。	不明「ニューギニヤ」島「サルミ」着。	不明横須賀出発。	不明横須賀着。	不明「ニューギニヤ」移駐のため「ハルビン」出発。	「ハルビン」着。	「ハルビン」移駐のため公主嶺出発。	満洲公主嶺において編成完結。	軍令陸甲第七号により編成下令
		第二次										

											昭		年 月 日	才一九航空地区司令部 (球才二五六九部隊) 略 歴
											19	18		
9	4	4	4	4	4	4	4	4	4	10	10	5		
読谷山大湾に移動飛行場設定勅務	沖繩那覇着	鹿児島港出発	鹿児島港寄港	釜山港出発	釜山着	鮮満国境安東通過	先発飛行機により白城子出発同日那覇着	移駐のため主力白城子出発	白城子に移駐し作戦に任ず	軍令陸甲才七一号により満州齊々哈爾において編成完結			略 歴	
												摘	要	

					昭
21	"	"	"	20	19
11	8	7	7	4	10
12	15	22	16	1	10
復員	停戦	沖永良部島移駐	与論島移駐	(中頭郡) 敵の後方擾乱の任に当る	米軍上陸と共に各飛行場大隊及び防衛隊を指揮し恩納山に位置し 対空戦斗に参加